

大豆だより

第5号

令和5年8月21日発行
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8215

病害虫の適期防除と雑草対策で収量・品質の確保を！

○病害虫防除

1 マメシクイガの防除

マメシクイガの成虫は8月中旬頃から発生し、8月下旬～9月上旬にかけて産卵最盛期となります。

☑産卵最盛期が防除適期であり、**8月下旬（8月25日頃）、9月上旬（前回散布の10日後）の2回防除が基本**です。

☑莢まで薬剤が付着するようにていねいに散布しましょう。



食害された子実

2 紫斑病の防除

紫斑病は開花期～子実肥大初期にかけて感染し、特に開花12～40日後が感染適期となります。登熟期間の気温が25℃以上で多湿条件となると感染が助長されます。

☑**開花期25～35日後が防除適期**です。

☑マメシクイガの1回目防除と同時防除が可能です。



紫斑粒(罹病子実)

○雑草対策の徹底

帰化アサガオ類などの難防除雑草は翌年に種子を残さないことが重要です。圃場を確認し、発生がみられる場合は、速やかに手取りしましょう。

☑ 除草剤の畦間・株間処理を行う場合は、専用ノズルを使用し、大豆の本葉に掛かからないように注意しましょう。

☑ 大型雑草や帰化アサガオ類などの蔓を残したまま収穫すると、汚損粒の発生につながります。**雑草が結実する前に抜取り、適切に処分**しましょう。

STOP 農作業事故！！あせらず、ゆとりを持って作業を進めましょう！

農薬危害防止運動実施中！！農薬を適正に使用し、農薬事故を防ぎましょう！

熱中症に要注意！！水分補給をしっかりと行い、適度に休憩をとりましょう！